

空調設備をまとめて更新・増設・新設する際に初期導入コストを抑える

購入選択権付きリース

新登場



ビル全体の空調をリニューアルしたい…。
工場用の空調設備を一新したい…。
こんなとき、一括の予算取りは高額で大変ですね。
「購入選択権付きリース」は、そんなユーザー様に最適。
ほかにも、通常リースにはないメリットがいっぱいです。

当初のリース料を安く抑えたい!

いずれは物件を所有したい!

長く使うからトータルコストを抑えたい!

そんなユーザー様には

購入選択権付きリースがぴったりです!!

メリット①

リース料は残価を差し引いた金額で算出するため、**通常のリースより月々のお支払いが少なくて済みます。**

メリット②

リース料満了時に、残価で買い取ることができます。
残価を基準に二次リースすることも可能です。

メリット③

通常のリースだと、長く使用する場合、再リース料がかさみ、トータルコストが高くなります。
購入選択権リースで満了時に買い取った方が、長期使用の場合はお得です。

ほかにもメリットがいっぱい!

安心

動産保険つき

万一、火災、水害、落雷、爆発などで物件が破損しても、保険金があるので大きな損害を受けずに済みます。

節税

経費で処理

リース料は税制上、必要経費として処理でき、節税効果があります。
(注) 会計処理については税理士、会計士にご相談ください。

ゆとり

銀行借入枠を温存

リースは「借入れ」ではないため、長期の資金導入と同じ効果ももちながら、銀行の借入枠に影響を与えません。

■ 購入選択権付きリースのしくみ

あらかじめ残価(リース満了時に買い取る価格)を設定。リース料は、残価を差し引いて計算します。
なお、リース満了時には、残価で買い取るか、残価を基準に二次リースするかを選択していただけます。

残価を差し引く分、リース料が安くなります。

購入選択権付きリースの場合

$$\text{リース対象額} = \text{機器価格} + \text{工事費等} - \text{残価}$$

通常のリースの場合

$$\text{リース対象額} = \text{機器価格} + \text{工事費等}$$

(残価は、リース満了時点での簿価以上で設定します。)

■ 対象商品：ダイキン空調機全商品

(移設困難なため通常リースでは対象外のダクト形等も、購入選択権付きリースなら対象となります)

■ 対象金額：500万円以上 上限なし

(500万円以下の場合は要相談)

■ リース期間・料率：事前審査のうえ、期間・料率を設定させていただきます。

詳細は、お気軽にお尋ねください。

〈お申込みにあたってのご注意〉連帯保証人予定者および申込者(個人事業者の場合)は、支払能力に関する審査のために、裏面申込の内容に基づき、リース会社が信用情報機関に登録されている個人情報を利用すること、および申込に関する情報が当該機関に6か月間登録されることに同意していただくことになります。(同意のご確認として裏面の申込書に必ず捺印をお願いします。)